

第 24 回 立川市通学路安全対策検討委員会（若葉町地区）

日 時：令和 6 年 3 月 21 日（木） 10:00～11:00

場 所：若葉台小学校

出席者：広瀬委員（立川市シルバー人材センター）

松村委員（若葉台小学校校長）

澤田委員（市学務課） 田中委員（市学務課）

事務局：新美（市学務課）

議事 1. 意見交換

2. その他

議事要旨

若葉台小学校スクールサポーターズからのご意見を事前に頂いていたため、下記のとおり紹介した。

○若葉大通りにある指定速度を表す路面標示が薄れているため、整備の検討をしてほしい。

○来年度以降、立川市シルバー人材センターによる交通ルール指導員業務は終了となるが、これからもサポーターズとして見守りを続けていきたい。

1. 意見交換

交通ルール指導員業務が令和6年3月で終了となるが、そのことも含めて通学路の安全対策等について、意見を述べた。

- ・これまで交通ルール指導員業務に従事してきた立川市シルバー人材センターの会員全員による最後の見守りを3月22日の若葉台小学校終了式と、3月25日の卒業式の日を実施する。
- ・最後の見守り後にシルバー人材センターで解散式を開催し、そこで、松村校長先生、サポーターズ下田様、澤田学務課長からの感謝のお手紙を送る。
- ・最初に業務を始める頃は不安しかかないような状態であったが、この6年間、子どもと会員に大きな事故がなくて本当に良かった。
- ・地元の若葉町にお住まいの会員が中心となり業務を行ってきたため、業務終了後も引き続き、登下校の見守りを含め、様々な場面で子どもの見守りを心がけてもらえるように25日の最後の見守りの日をお願いをする。
- ・今後とも立川市シルバー人材センターで何かお手伝いできるようなことがあれば取り組ませていただきたい。
- ・長い間、子どもの安全を守るためにそれぞれの立場でご尽力していただき学校として感謝している。学校では安全指導の徹底について、繰り返し子どもたちには伝えており、交通ルール指導員業務が終了することを含め、これからも十分に気を付けて登下校するように意識することを校長先生から全校朝会で、また担任の先生から各学級で伝えている。
- ・保護者には、学校だよりや学年末の保護者会で交通ルール指導員業務が終了することと、学校において細かく交通安全指導をしていることをお伝えしている。
- ・交通ルール指導員業務が終了することで子どもたちも寂しがっている様子である。
- ・特段、保護者からの意見等は学校に届いていない。子どもの安全を守るために保護者と学校とで協力していく必要があることをご理解いただいていると感じている。
- ・引き続き、シルバーの方々には無理のない範囲で可能な限り子どもの安全を今後も見守っていただけると大変ありがたい。子どもたちも喜ぶと思う。
- ・3月の議会で、地元である若葉町の共産党所属議員から若葉台小学校の登下校時の見守りについて、一般質問を受けた。その他、若葉町地区の老人クラブの方から立川市長に対して、登下校時の見守りについての意見もあった。その都度、これまでの経緯等について市からお答えしている。
- ・教育委員会にも、保護者からのご意見等については特段入っていない
- ・毎朝、学校の先生が通学路上で声掛けをしていただいていることは教育委員会としても伺っている。
- ・4月以降、保護者やシルバーの方々には登下校時の見守りを無理のない範囲でお願いできればと思っている。

議事要旨

- ・教育委員会としては、保護者から意見等が入っていないことが単に了解をもらっていると受け取っていない。引き続き大きな課題があると認識した上で、来年度以降の取り組みとして、通学路点検や地域安全マップ、防犯ブザーの配布を進めるとともに、新規に低学年児童の保護者を対象に、子ども用GPS端末購入助成事業も開始していく。地域安全マップは活用しやすい形に見直しの検討も行う。
- ・小学校長会から予算要望があった全校分の交通ルール指導員の配置について、一旦、教育委員会で議論したが、費用面や、登下校時に全校分、指導員を配置するには人員という部分で課題があるため、要望に答えることは難しいという結論に至っている。
- ・今後、通学路関係の要望については、引き続き教育委員会に連絡いただければ対策の検討をしていく。
- ・全校分の交通ルール指導員の配置について、全校に配置となると当然、人的、予算的に厳しいことは学校として承知している。通学路の安全状況を一番把握しているのは学務課だと思われるので、学務課で全校の通学路の様子を見ながら、重点箇所だけでも交通ルール指導員の配置をしてもらえたらと考えている。
通学路等安全推進会議でも他校において通学路上の危険箇所への対策について困っている声を聞いているため、それらの声のうち何か所かだけでも指導員の配置を検討してもらえるとありがたい。
学校としてできることは、駐在の方や警察に要望して危険箇所に立ってもらうことが良いと感じている。車の運転手は毎朝、同じ時間帯、場所を通る傾向があるので、警察が危険箇所に立つことはかなりの啓発になると思われる。
子どもたちなりに気を付けているが、運転手の意識を変えないとどうしようもないこともあるため、危険箇所に時々でも警察に立っていただけるとありがたい。
- ・市民から市に他校でのスクールゾーンへの侵入車両について情報提供があり、学務課から警察へ状況をお伝えしたところ、すぐに取り締まりをしていただいた。具体的に情報を伝えると、警察としても動きやすいため、学務課としては全校のなかで危険箇所があった際に、運転手に対して啓発力のある警察を巻き込むような形で対応できればと思っている。
- ・シルバーで交通ルール指導員業務を行うにあたり問題等なかったが、それまでボランティアとして下校時に全校での見守りをしてきたところで、業務委託を受けている地域では有償での見守りとなり、ボランティアとして見守りをしている地域は無償となるため、その会員の意識の差のバランスを取ることや、組織のなかでの意識作りの難しさを感じた。今では影響はないと思われるが、交通ルール指導員業務が始まった頃は、下校時の見守りの参加者数が減ることもあった。
- ・若葉町地区の見守りをしている方は、若葉町団地の方が主になるが、高齢化が進んでいる。若葉町1・2丁目の方が大体80人弱、3・4丁目の方が60人ほどの会員がいるが、実際に見守り活動に参加しているのは、ここ3か月を見ると4割ほどになる。
- ・交通ルール指導員業務が終わった段階で、見守りの配置の重きをすずかけ通りから府中道に置いていたが、なかなか五日市街道まで広げることは現段階では厳しい。
- ・今後は、会員の方の参加率が高い日に交通ルール指導員業務の経験者の方に見守りの範囲を少し広げることに協力してもらえたらと感じている。

議事要旨

- ・ 4月から新学期が始まるため、市としても引き続きシルバーの会員の方の協力をいただけると大変ありがたい。

2. その他

- ・ 若葉町地区立川市通学路安全対策検討委員会については、今回会議で終了とする。
- ・ 今後、通学路の安全対策等について、ご意見等あれば教育委員会まで連絡いただき、対策を検討していく。